

【1】大学の教育研究上の目的

(4)各学部・学科の教育研究上の目的

現代人間学部

人間や現代社会にかかわる多様な学問を学びながら、現代に生きる人間に必要な知性や研究方法を身につけ、現代社会が抱える諸問題を積極的に解決する能力と現代を主体的に生きる力を育てます。講義を通して理論と研究方法を習得するとともに、フィールドワークや実習による現場体験を通して問題意識を深め課題を発見することをめざします。

心理教育学科（現代人間学部）

「こころ（心理）」と「まなび（教育）」と「そだち（保育）」について広く深く学び、「現場感覚をそなえた実行力をもった人間」—すなわち、心理学や教育学や保育学の考え方を実際場面にいかす生活者、基礎と応用を結びつける実践者、新しい課題に挑戦する探求者—を育てます。

現代社会学科（現代人間学部）

グローバル化・少子高齢化・情報化が進む現代社会で生じるさまざまなレベルの社会問題に対し、ジェンダー、民族関係、階層、地域などの分析視点と研究方法を学びます。敏感な感性をもって問題のありかを確認、現状を批判的に分析・考察し、その成果を実際にいかしていく積極的な行動力を備えた人間、すなわち「社会的な知性をもった実践者」を育てます。

人間科学科（現代人間学部）

これからの社会では、障がいの有無だけでなく、言語や文化が異なる人々とも共に生きていくことが重要であり、身近な足もとの自然や地域の人々とも豊かに関わる力が求められています。現場体験による気づきを重視しながら、身体・環境・生活の3分野を関連づけて自ら学び、「共生」を多面的に考えられる共生社会の中軸となる市民を育てます。